



Arcserve Unified Data Protection Update のご紹介

Arcserve Japan

> Update とは？

Arcserve UDPでは、ご要望の多い機能の追加や対応アプリの最新バージョン対応のため製品リリース以降にUpdate（更新）を随時公開しています。

本資料では、対応別にUpdate 2～4 の情報を掲載しています。

仮想

仮想環境の対応強化

APP

アプリケーション対応拡大



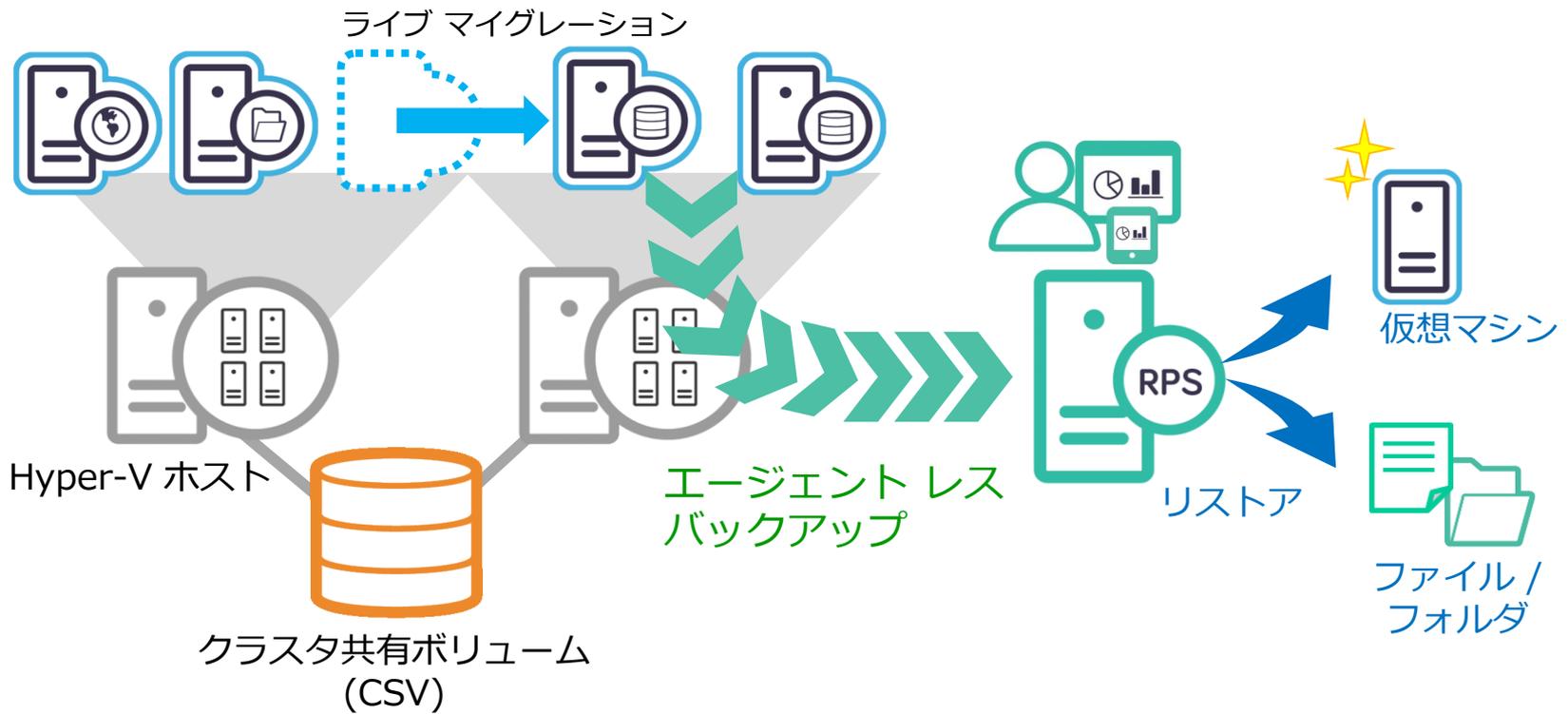
簡単

利便性の向上

仮想

Hyper-V クラスタ環境のサポート

- こんな時に便利！
- クラスタ環境でもエージェントレスでバックアップしたい
 - クラスタだけではディスク障害や論理障害が不安



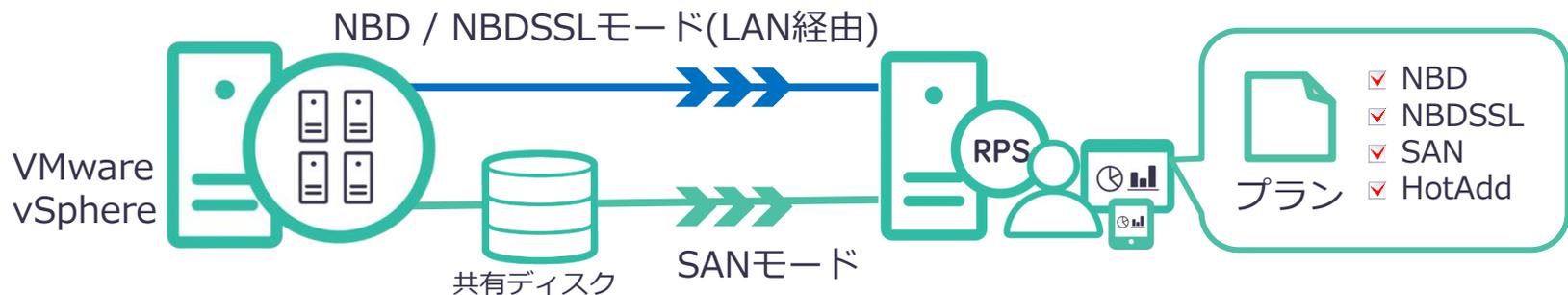
Hyper-V クラスタ環境を簡単にバックアップ！

arcserve®

VMware vSphere 仮想環境の対応強化

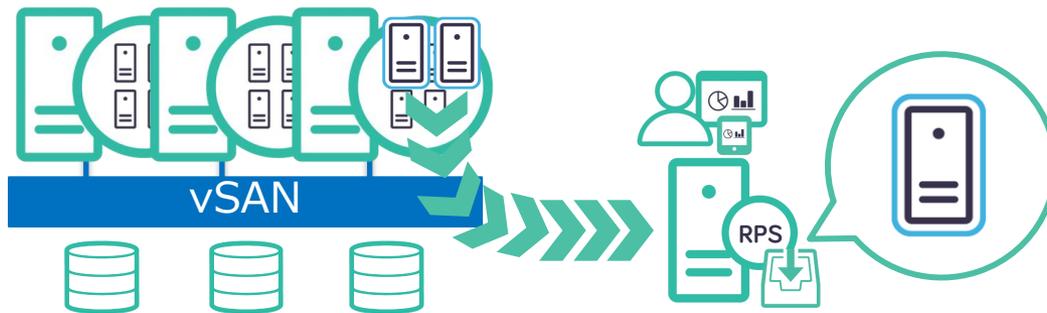
■ トランスポートモードの指定

プランの設定でバックアップデータ転送経路の指定ができます



■ Virtual SAN (vSAN) 環境のサポート

vSAN構成の環境でもエージェントレス バックアップができます

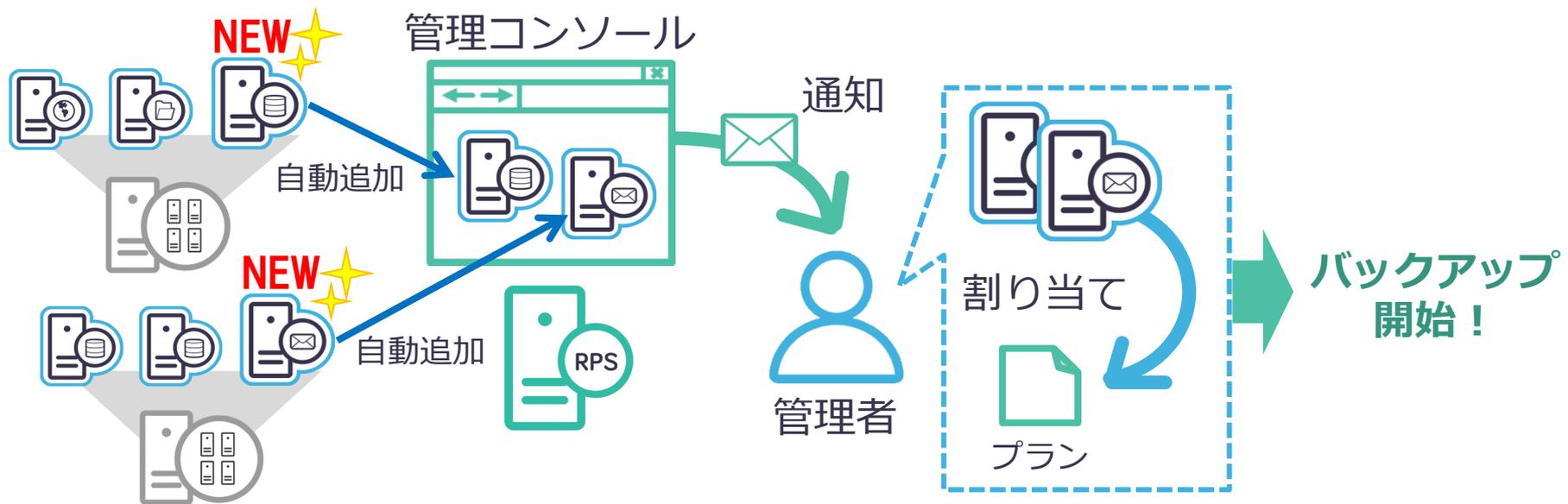


仮想

仮想マシンの自動検出 + ノード追加

ここが
ポイント！

- ➔ 仮想マシンのバックアップ漏れを防止
- ➔ 自動検出してノード追加の手間を削減し、運用を効率化

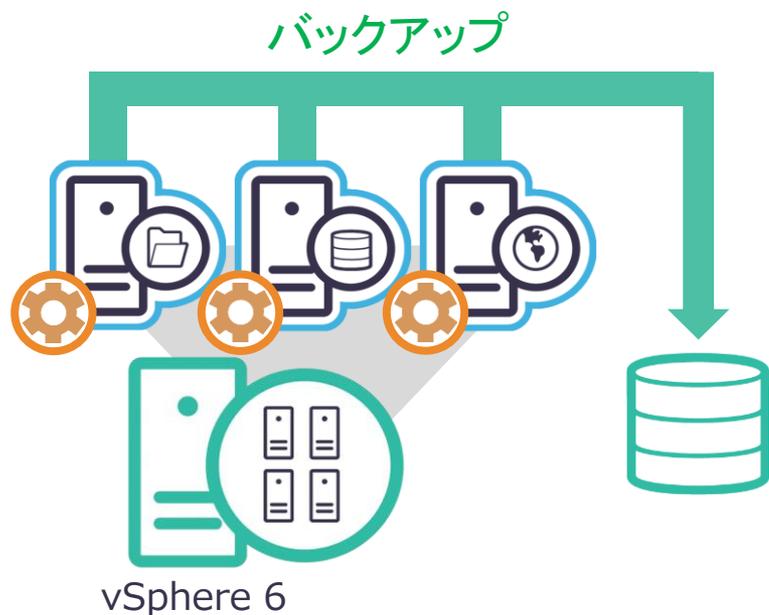


管理を効率化し、これまで以上に運用負担を軽減！

arcserve®

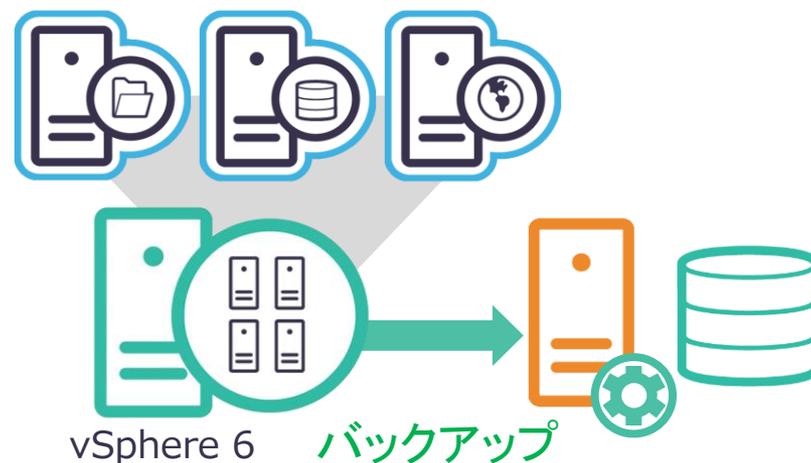
VMware vSphere 6 環境のサポート

仮想マシンにエージェントを導入する (エージェントベース)



- UDP Agent for Windows
- UDP Agent for Linux

仮想マシンにエージェントを導入しない (エージェントレス)

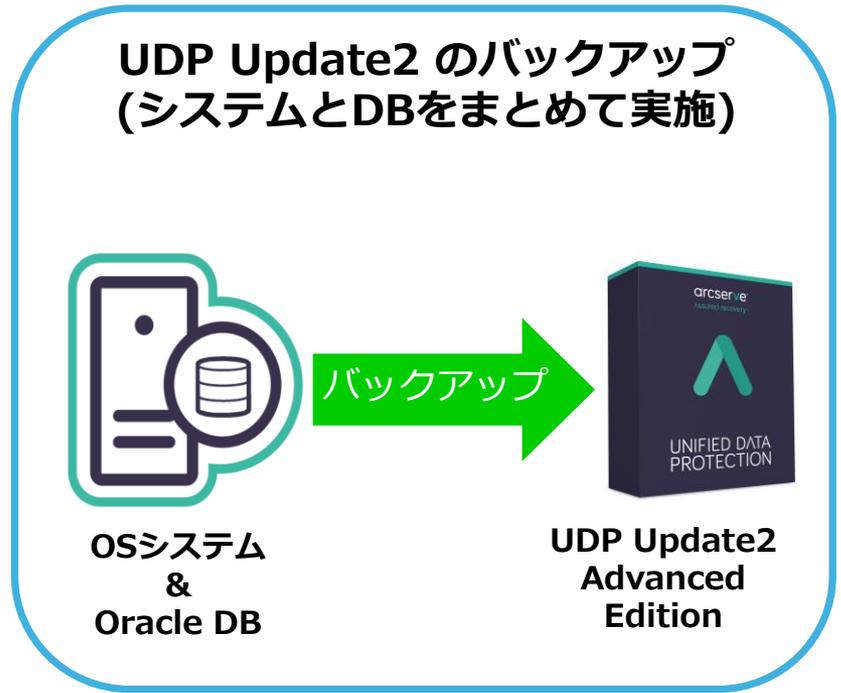
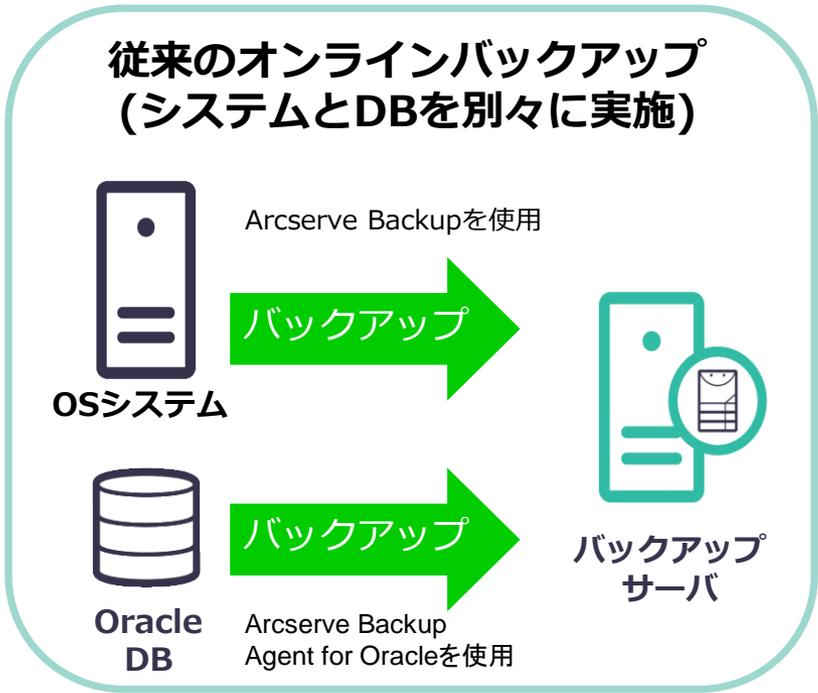


- バックアップ プロキシ サーバ (UDP Agent for Windows)

Oracleデータベースへの対応

ここがポイント！

- Oracle 12c、11g をオンラインバックアップ
- OSシステムもDBもまとめて一括バックアップ/復旧

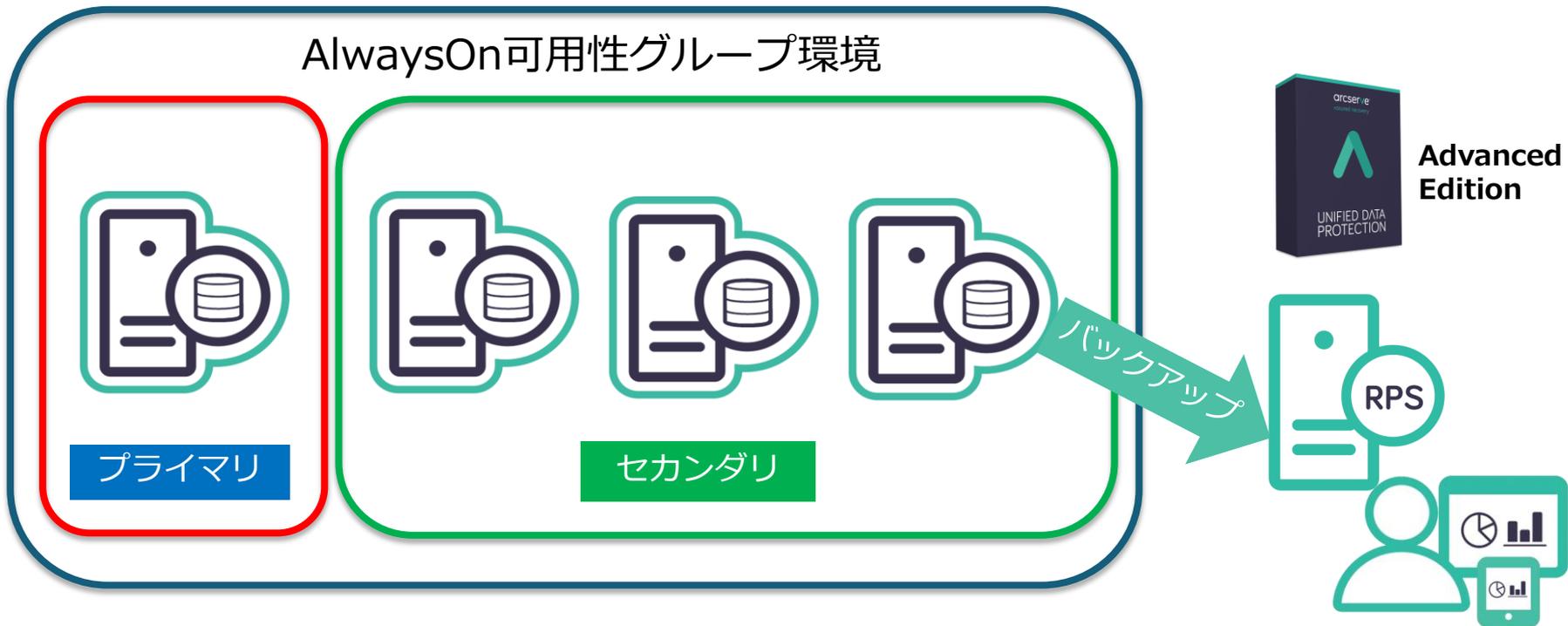


Oracleシステムのバックアップ & 復旧が簡単に！



SQL Server 可用性グループへの対応

SQL Server 2012/2014 AlwaysOn Availability Group (AAG) 環境のセカンダリからのバックアップに対応



業務(プライマリ)にバックアップ負荷をかけない！

arcserve®

簡単

Active Directory オブジェクトレベルリストア

Update 2

誤って消してしまったActive Directoryのユーザ アカウントや
コンピュータなどのオブジェクトを簡単にリストア可能



Active Directoryの柔軟・迅速な復旧が可能に！

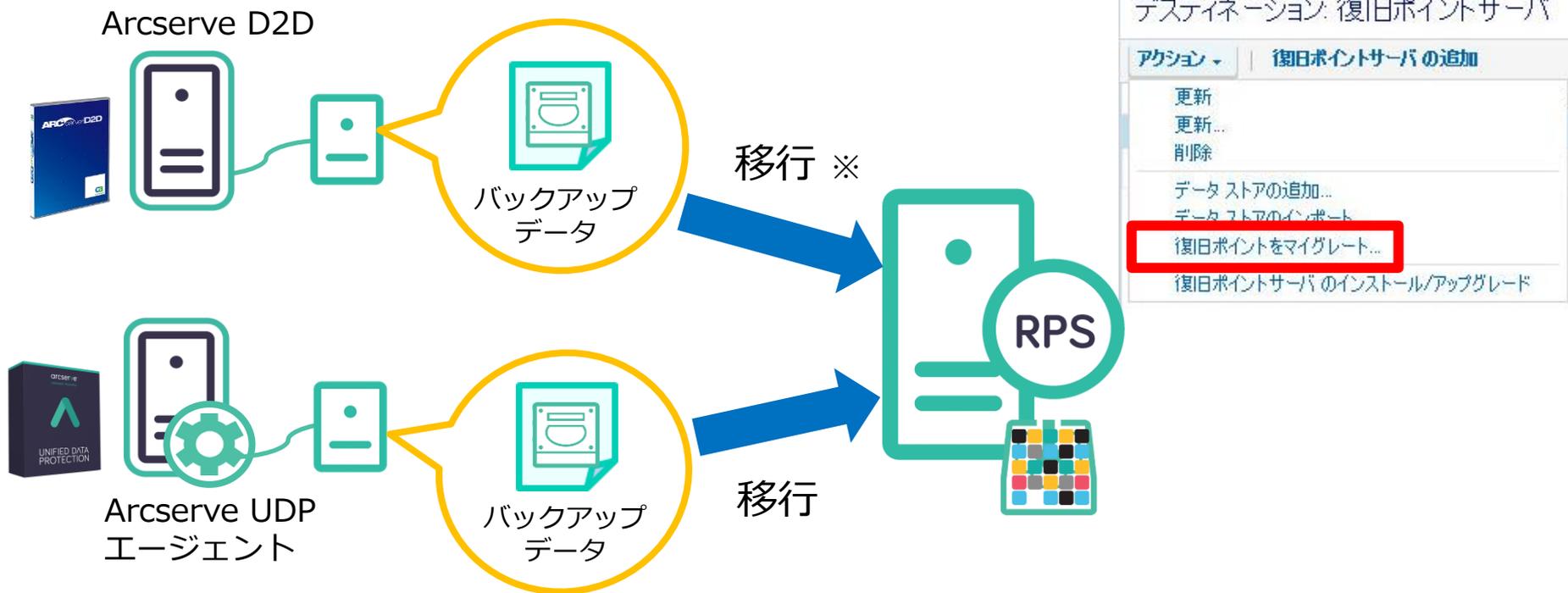
arcserve®

簡単

データマイグレーション（移行）機能

ここがポイント！

- Arcserve D2DのバックアップデータをUDPで継続利用
- UDP単体サーバから統合管理サーバ構成への移行が簡単に



これまでのデータを生かした構成変更が可能！

※ 移行後RPS(復旧ポイントサーバ)にバックアップするには、UDPにアップグレードする必要があります arcserve®

簡単

小さいサイズのパーティションへの復旧

ここが
ポイント！

- ➔ バックアップ元のディスクサイズに依存しない
- ➔ P2V先の仮想ディスクを元ディスクよりも小さくできる

パーティションサイズ (2TB)

データサイズ
500GB

失敗！

パーティションサイズ (1TB)

データサイズ
500GB



データは
収まるのに。。

Windows OS標準バックアップ機能

パーティションサイズ (2TB)

データサイズ
500GB

リカバリ成功！

パーティションサイズ (1TB)

データサイズ
500GB



元のディスクサイズを
気にせずリカバリ！

Update2のベアメタル復旧

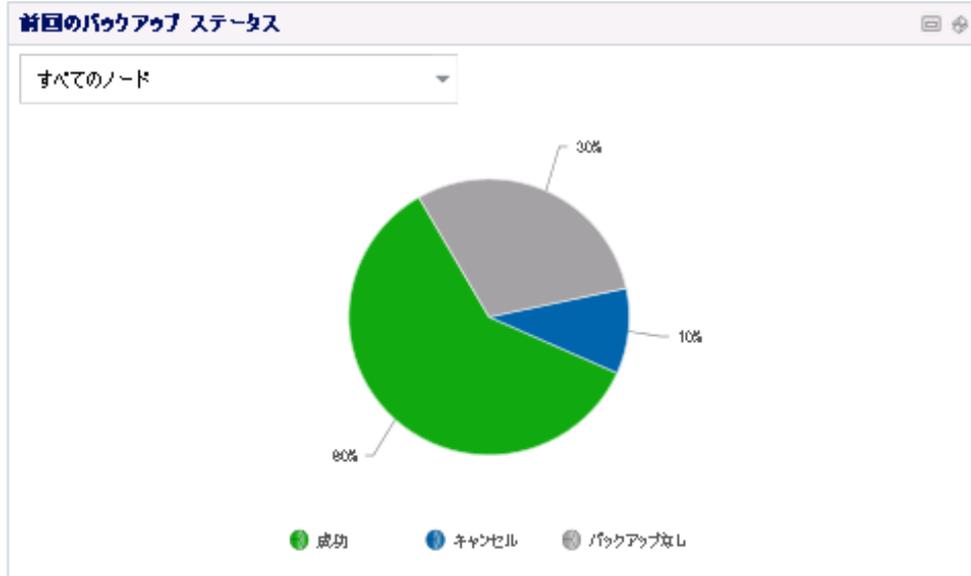
- ※ Update2以降でのバックアップが必要
- ※ データサイズより小さなパーティションにはリストアできません

arcserve®

簡単 バックアップ状況の見える化

UDPコンソールの「ダッシュボード」を、最新のバックアップ状況がグラフィカルに判るグラフに変更

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 環境設定 | ハイアベイラ



確認可能なステータス

- ・バックアップ ステータス
- ・各種データサイズ
 - バックアップ対象データ
 - バックアップデータ
 - 復旧可能なデータ

*[前回のバックアップ ステータス]画面

バックアップの状況を管理者が一目で判断可能

arcserve®

> Update 2 : その他の変更・改善点

クラスタサポート

ファイルサーバのクラスタ共有ボリュームに対するバックアップ/リストアをサポートします。

Exchange 詳細レベルリストアのサポート拡張

エージェントレスバックアップの際も Exchange のメールボックス、フォルダ、メール単位のリストアがサポートされるようになりました。

データストアからの復旧ポイント削除機能

対象ノードの削除時に、データストアに蓄積された対象ノードの復旧ポイントも同時に削除できるようになりました。

重複排除データストアのモード切替（メモリ→SSD）

運用中のデータストアに対してRPSのモードをメモリからSSDへ変更し、メモリ負荷を軽減させることができるようになりました。

50項目以上に及ぶ機能強化および改善

日次スケジュールで曜日の除外設定、エージェントのリモートインストールのキャンセル実行など、ユーザー様から頂戴した数々のご要望などを多く反映させ、機能向上や改善を図りました。

> Update 3 : その他の変更・改善点

エージェントレスバックアップの復旧ポイントチェック

バックアップ直後に復旧ポイントをファイルシステムレベルで整合性を確認し、仮想ディスクの障害によるデータ損失を事前回避できます。

仮想マシンのスナップショット作成方法の選択

VMware および、Hyper-V環境で仮想マシンのスナップショットに問題が生じる場合に、仮想マシンのスナップショット作成方法を選択することができます。

UDPコンソールに[ジョブ]タブの追加

Update 2までの[ダッシュボード]タブが、[ジョブ]タブに変更されました。サーバ毎にバックアップの成功/失敗、ジョブ実行中などのステータスを確認する場合は、[ジョブ]タブから確認できます。

Hyper-V 仮想マシン毎のVSSスナップショット作成

仮想マシン毎にスナップショットを作成できるため、他の仮想マシンのバックアップが終了していない場合でもスナップショットが作成できるようになります。Hyper-V CSV環境ではこの設定を行ってください。(デフォルトはバックアップ対象仮想マシン全体で一つのスナップショットを作成)

> Update 4 : その他の変更・改善点

自動更新機能のサポート

自動更新機能で、Update4適用有無の確認・ダウンロードサイト検索・ダウンロードまで自動化するので手間を掛けずにUDPを最新環境に更新できます

プロキシサーバ (VDDK)のアップデート

VMware仮想マシンのエージェントレスバックアップで使用するプロキシサーバのVDDKモジュールを5.5.4 にアップデートし、vSphere 6 環境のバックアップに対応します

JRE (Javaランタイム) のアップデート

UDPが利用するJavaランタイム を1.8に更新するので、脆弱性への対策が強化された環境でバックアップできます

復旧ポイントサーバ「データストアへの同時ストリーム」数の変更

復旧ポイントサーバでデータ ストアを作成する際「データ ストアへの同時ストリーム」デフォルト値を20 から 4 に変更し、データストアに対する並列バックアップの数を最適化しました

> お問い合わせはこちらから



Arcserve ポータルサイト : [arcserve.com/jp](http://www.arcserve.com/jp)
カタログセンター (カタログ、技術資料)

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/catalog-center.aspx>

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパン ダイレクト (購入前のお問い合わせ)

例 : 「この構成に必要なライセンスを教えてください」、「Arcserve UDP はXXXに対応していますか?」、「XXXはサポートされますか?」

フリーダイヤル : 0120-410-116

(平日 9 : 00 ~ 17 : 30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます)

Webフォーム : <http://www.arcserve.com/jp/japandirect>

arcserve®